



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 共和電業

コード番号 6853 URL <http://www.kyowa-ei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 淑夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中義一

TEL 042-489-7215

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	6,844	4.3	804	48.0	861	55.4	565	85.5
24年12月期第2四半期	6,560	△1.6	543	△9.2	554	△7.0	304	△13.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 703百万円 (98.3%) 24年12月期第2四半期 354百万円 (△4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	22.48	—
24年12月期第2四半期	12.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	18,389	9,640	52.4	381.95
24年12月期	17,603	9,092	51.7	362.45

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 9,640百万円 24年12月期 9,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	8.00	8.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	7.1	1,300	21.4	1,300	19.5	750	24.7	29.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	25,758,800 株	24年12月期	25,758,800 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	519,897 株	24年12月期	671,910 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	25,146,756 株	24年12月期2Q	24,845,383 株

当社は株式給付信託を導入しており、当該信託に株式給付信託口が所有する株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として会計処理しているため、平成25年12月期2Q「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」には、当該株式給付信託が所有する当社株式の数(それぞれ47,500株、567,429株)を含めて算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料を当社ホームページで掲載する予定です。

平成25年9月4日(水)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和等の政策による先行き期待感により円高の是正や株価の回復がすすみ、景気回復への明るい兆しが見られるものの、民間における設備投資はまだまだ慎重であり、全体としては実体経済面における顕著な改善までには至っておりません。また、中国および新興国経済の減速など、景気全体の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

計測機器業界におきましては、輸出企業を中心に一部設備投資の回復傾向が見られるものの、全体としては、設備投資に対して依然慎重な姿勢が続いており、本格的な回復には至っておりません。

このような事業環境のなか、当企業グループは、平成25年度を初年度とする「第4次中期経営計画」を策定し、新たな事業領域の開拓とグローバルビジネスの拡充をはかる各種施策の取り組みを開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間における受注高は、一部企業の設備投資の回復などにより、7,397百万円（前年同期比9.2%増）となりました。また、売上高につきましても、6,844百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

収益につきましては、売上高の増収と、製品の採算性向上により、営業利益は804百万円（前年同期比48.0%増）、経常利益は861百万円（前年同期比55.4%増）、四半期純利益は565百万円（前年同期比85.5%増）と前年同期に比べそれぞれ大幅な増益となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測機器セグメント

センサ及び測定器等の製品販売につきましては、自動車関連企業の設備投資の回復により、売上高は5,732百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

保守・修理業務につきましては、機器修理については堅調に推移したものの、保守・点検業務が減少し、売上高は410百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

以上その他を含め、計測機器セグメントにつきましては、売上高は6,142百万円（前年同期比5.3%増）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は2,546百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

②コンサルティングセグメント

コンサルティングセグメントにつきましては、ダムの安全性を計測するセンサ設置等のダム関連分野は堅調に推移したものの、インフラ関連工事等が低調であったため、売上高は702百万円（前年同期比3.4%減）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は262百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

a. セグメント別受注状況

(単位：千円)

項目	前第2四半期連結累計期間 自平成24年1月1日 至平成24年6月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
計測機器	6,014,080	1,869,495	6,678,973	2,837,515	664,893	968,020
コンサルティング	761,563	258,703	718,913	256,301	△42,650	△2,402
合計	6,775,643	2,128,198	7,397,886	3,093,816	622,243	965,618

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

b. セグメント別売上状況

(単位：千円)

項目	前第2四半期連結累計期間 自平成24年1月1日 至平成24年6月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
計測機器	5,833,496	88.9	6,142,379	89.7	308,882	5.3
コンサルティング	727,174	11.1	702,577	10.3	△24,596	△3.4
合計	6,560,671	100.0	6,844,957	100.0	284,286	4.3

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、18,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ786百万円の増加となりました。

流動資産につきましては、12,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ661百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が694百万円、たな卸資産が339百万円がそれぞれ増加し、受取手形及び売掛金が476百万円減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、6,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円の増加となりました。その主な要因は、投資その他の資産が95百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、8,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円の増加となりました。

流動負債につきましては、5,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ706百万円の増加となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が152百万円、未払法人税等が103百万円、賞与引当金が26百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債につきましては、3,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ467百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金434百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、9,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ547百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が364百万円、その他有価証券評価差額金が106百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益865百万円、減価償却費184百万円、売上債権の減少479百万円、仕入債務の増加147百万円等の資金流入に対し、たな卸資産の増加339百万円、法人税等の支払259百万円等の資金流出があり、全体では1,237百万円の資金流入(前年同四半期は372百万円の資金流入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入4百万円等の資金流入に対し、有形固定資産の取得129百万円、無形固定資産の取得19百万円等の資金流出があり、全体では152百万円の資金流出(前年同四半期は39百万円の資金流出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入れによる収入100百万円、株式給付信託に係る自己株式の処分による収入44百万円の資金流入がありましたが、長期借入金の返済284百万円、配当金の支払199百万円等により、全体では445百万円の資金流出(前年同四半期は445百万円の資金流出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ689百万円増加し、4,090百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績等を踏まえ、平成25年2月8日の決算短信で公表いたしました平成25年12月期通期業績予想を修正しております。詳細は、平成25年8月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正にともない、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,755,640	4,450,337
受取手形及び売掛金	5,031,709	4,555,390
商品及び製品	732,165	902,476
仕掛品	676,419	835,320
未成工事支出金	32,432	53,264
原材料及び貯蔵品	1,182,321	1,171,718
その他	285,922	388,739
貸倒引当金	△3,565	△3,149
流動資産合計	11,693,044	12,354,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,501,067	2,436,063
その他(純額)	1,335,070	1,421,172
有形固定資産合計	3,836,137	3,857,235
無形固定資産		
	94,597	103,153
投資その他の資産		
その他	1,981,705	2,077,307
貸倒引当金	△2,278	△1,884
投資その他の資産合計	1,979,427	2,075,423
固定資産合計	5,910,163	6,035,811
資産合計	17,603,207	18,389,910
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,359,118	1,511,672
短期借入金	1,080,000	980,000
未払法人税等	248,637	352,160
賞与引当金	164,930	191,337
役員賞与引当金	29,450	17,634
その他	2,149,509	2,685,411
流動負債合計	5,031,645	5,738,216
固定負債		
長期借入金	891,761	456,963
退職給付引当金	2,426,775	2,381,543
役員退職慰労引当金	127,821	115,180
資産除去債務	11,687	11,803
その他	20,837	46,159
固定負債合計	3,478,883	3,011,650
負債合計	8,510,529	8,749,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,309,440	1,309,440
資本剰余金	1,344,609	1,349,709
利益剰余金	6,476,086	6,840,646
自己株式	△174,420	△135,319
株主資本合計	8,955,714	9,364,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,619	226,228
為替換算調整勘定	17,344	49,338
その他の包括利益累計額合計	136,963	275,566
純資産合計	9,092,678	9,640,043
負債純資産合計	17,603,207	18,389,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,560,671	6,844,957
売上原価	4,088,758	4,036,015
売上総利益	2,471,912	2,808,941
販売費及び一般管理費	1,928,231	2,004,325
営業利益	543,680	804,616
営業外収益		
受取利息	2,017	3,818
受取配当金	20,164	18,440
為替差益	—	50,011
その他	26,715	21,208
営業外収益合計	48,896	93,479
営業外費用		
支払利息	29,187	23,590
その他	9,058	12,874
営業外費用合計	38,245	36,465
経常利益	554,331	861,629
特別利益		
投資有価証券売却益	3,881	3,750
特別利益合計	3,881	3,750
特別損失		
投資有価証券評価損	13,234	—
固定資産廃棄損	5,251	—
特別損失合計	18,486	—
税金等調整前四半期純利益	539,727	865,379
法人税、住民税及び事業税	184,816	360,969
法人税等調整額	50,214	△60,845
法人税等合計	235,031	300,124
少数株主損益調整前四半期純利益	304,696	565,255
四半期純利益	304,696	565,255

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	304,696	565,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,706	106,608
為替換算調整勘定	2,467	31,994
その他の包括利益合計	50,173	138,602
四半期包括利益	354,870	703,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,870	703,858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	539,727	865,379
減価償却費	179,201	184,893
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,411	△810
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,734	△45,232
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,897	26,406
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,696	△11,815
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,123	△12,641
受取利息及び受取配当金	△22,181	△22,259
支払利息	29,187	23,590
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,234	—
売上債権の増減額 (△は増加)	69,438	479,116
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43,386	△339,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	△123,869	147,401
その他	△74,032	203,811
小計	680,886	1,498,717
利息及び配当金の受取額	22,433	22,098
利息の支払額	△29,946	△23,942
法人税等の支払額	△301,049	△259,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,324	1,237,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△5,000
投資有価証券の売却による収入	22,366	4,500
有形固定資産の取得による支出	△55,075	△129,771
無形固定資産の取得による支出	△11,762	△19,152
その他	4,797	△2,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,672	△152,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△286,956	△284,798
自己株式の取得による支出	△121	△272
自己株式の処分による収入	44,420	44,474
配当金の支払額	△197,976	△199,044
その他	△4,634	△5,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,268	△445,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,104	49,993
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,512	689,697
現金及び現金同等物の期首残高	3,255,026	3,400,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,147,514	4,090,337

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル テイング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,833,496	727,174	6,560,671	—	6,560,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,833,496	727,174	6,560,671	—	6,560,671
セグメント利益	2,231,893	240,018	2,471,912	—	2,471,912

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル テイング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,142,379	702,577	6,844,957	—	6,844,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,142,379	702,577	6,844,957	—	6,844,957
セグメント利益	2,546,897	262,044	2,808,941	—	2,808,941

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。